

平成22年度事務事業評価シート(平成21年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	02	項	01	目	10
事務事業名	男女共同参画に関する出前講座開催事業								
担当部署	企画部男女共同参画・交流推進課	206000	電話	0187-63-1111			内線	297	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	06:仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり
	施策の大綱	02:男女共同参画社会の形成
	施策	01:男女共同参画のための基盤整備
	施策の内容	01:意識づくり
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、大仙市男女共同参画推進条例	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	男女共同参画社会実現のためには、市民や事業所などの様々な主体が協働し、家庭・地域・職場において取組を実践することが重要であり、学習機会の提供を通してその基盤となる正しい知識の習得や意識の向上を図る。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市内に在住、在勤するおおむね10名以上で構成する企業や団体等。
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①学校や企業、団体等からの申込による出前講座の開催。 ②学校や企業、団体等へ出向いての出前講座の開催。 ③主にあきたF・F推進員など地域活動のリーダーを講師として派遣している。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	①市民一人ひとりの個性、また事業所ごとの特性を行かしながら、家庭・地域・職場それぞれの場における取組が充実していくことが期待できる。 ②地域活動のリーダーを講師として派遣することで、リーダーの資質向上だけでなく新たなリーダーの発見や育成が期待できる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 出前講座開催数	回	9	5	3
	②				
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 出前講座参加人数	名	574	288	165
	②				
	③				
投入コスト	決算額		75千円	20千円	10千円
		一般財源	75千円	20千円	10千円
	人件費		1,787千円	1,607千円	885千円
		一般職員の年間従事人数	0.2人	0.2人	0.1人
		一般職員以外の年間従事人数	0.2人	0.1人	0.1人
総コスト	(決算額+人件費)	1,862千円	1,627千円	895千円	

事業を取り巻く環境	男女共同参画都市宣言、男女共同参画推進条例の制定などによる推進体制の充実を図ってきたが、市民や事業所など様々な主体が協働し、家庭・地域・職場などそれぞれの場における取組を充実させていく必要がある。更に、男女共同参画の視点を活かしながらそれぞれの主体が抱えている課題を解決していくという実践活動を通じた取組の必要性が注目されており、出前講座のあり方の改善が求められている。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	B
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	正しい知識の習得や意識の向上を図るためには引き続き必要であるが、今後は調査や統計などにより市民のニーズを絞った上で、その対象に対して、課題解決の手がかりとなるような講座を企画し、開催を働きかけていくという講座のあり方も必要である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	B
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	男女共同参画社会に関わりの少なかった市民や団体等の参画を促すためには、対象やテーマを絞り込み、課題解決の手がかりとなるような講座を企画する必要がある。また、参加型の講座を開催するなど開催方法についても検討する。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	B
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	出前講座を単独で開催するだけでなく、既存の事業などと併せた講座の開催、男女共同参画関係団体主催行事などと併せた講座の開催などにより効率化を計りながらコストを削減することができる。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)	
改善	A 現状のまま継続	①デートDV防止やコミュニケーションに関する講座など、具体的なテーマを題材とした講座を企画し、市内の学校や団体などに対して講座開催の働きかけをしていく。 ②あきたF・F推進員、審議会委員、DV防止連絡会員などと連携しながら、協働のもとでの講座を開催していく。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	